

日本学術振興会ワシントン研究連絡センター

エネルギー省、傘下の国立研究所で開発された革新的なクリーン・エネルギー技術の商業化促進を目的としたパイロットプログラムを立ち上げ（10月29日）

エネルギー省（Department of Energy : DOE）は10月29日、総額230万ドルを拠出して、DOE傘下の国立研究所で開発された革新的なクリーン・エネルギー技術の商業化促進を目的としたパイロットプログラム「ラボ・コア（Lab-Corps）」を立ち上げた。本プログラムは、オバマ大統領が進める「研究室から市場へ（Lab-to-Market）」イニシアティブの一環で行われるもので、米国科学財団（National Science Foundation : NSF）が既に成功を収めている「イノベーション・コア（Innovation Corps : I-Corps）」モデルを基盤としている。

同プログラムは、特定の技術を促進するもので、研究所ベースのチームが技術に関するフィードバックを市場から直接受け、ベンチャー企業、業界内のパートナーシップ、ライセンス契約などといったビジネス機会を構築する、国立研究所の研修カリキュラムとなる。なお、同プログラムに参加する研究所として、国立再生可能エネルギー研究所（National Renewable Energy Laboratory : NREL）を含む国立研究所6施設が選抜されている。

Department of Energy, Energy Department Announces New Lab Program to Accelerate Commercialization of Clean Energy Technologies

<http://www.energy.gov/articles/energy-department-announces-new-lab-program-accelerate-commercialization-clean-energy>